羽田増便

品川・八潮団地上空の航空機飛行は中止を！

企業のもうけ優先ではなく、人命の安全、住環境の保全こそ

ねらいは、「世界で一番企業が活躍しやすい国」づくり

安倍政権がすすめる羽田空港の機能強化は、「国際競争力強化」「東京オリンピック開催」を声高に叫びながら、「世界で一番企業が活躍しやすい国」づくりをめざすものです。

国際線の離発着の増加を想定し、一度はやめた品川区・八潮団地上空の飛行を再開するというのです。

騒音

区の答弁は、大井町駅上空で騒音は「80デシベル以上」。八潮上空は「さらに高くなる」。

以前上空を飛んでいた頃を知る人は、「テレビの音も、電話の音も聞こえない。当時を思い出すと恐ろしい」と語ります。

しかし、当時はそれでも「65～70デシベル」。こんどの計画は、さらに深刻です。これが1時間当たり44回。15時から19時の間に山手線並みに襲いかかるのです。

航空機騒音による健康への影響では、外国の調査で、脳卒中や冠動脈疾患が他の地域と比べると2割ほど多いという結果も出ています。国は何の検証も行っていないのではないでしょうか。

騒音だけではありません

品川区や、自民党など与党は騒音対策だけを問題にしていますが、問題は騒音だけにとどまらず、落下物や飛行機そのものの墜落事故も考えられます。

落下

落下物では、実際に氷塊、飛行機の部品が落下した事故が報告されています。

さらに、大気汚染の問題もあります。

墜落

最近だけでも、台湾台北市、フランスのドイツ機の墜落事故があったばかりです。八潮団地や品川区の人口密集地で起きれば大惨事が予想されます。

「絶対安全」はなく、中止しかありません。

羽田増便はやめ別の道で

国は、人口密集地上空の飛行中止を決断し、成田空港をはじめ国内空港との並行活用や国内線の新幹線へのふりかえなど別の道を考えるべきです。

国土交通省に申し入れます
4月14日（火）午後5時　参議院会館会議室

日本共産党
品川区議会議員
南　恵子

人命の安全、住環境の保全が最優先されるべきです

「八潮上空飛行計画は中止」は、住民だれしもが望む、当然のものです。中止へ、粘り強く取り組んでいきます。

お元気ですか 南恵子 です

発行責任者日本共産党品川区議会議員南恵子　八潮5－12－65－503℡3790－1523　メールminami@jcp-shinagawa.com